

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	立石紙工 株式会社 本社工場 新築工事	階数	地上1F
建設地	福岡県北九州市八幡西区夕原町6-1他	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	35 人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年4月 予定	評価の実施日	2017年1月27日
敷地面積	4,389 m ²	作成者	蔵原佳代子
建築面積	2,641 m ²	確認日	2017年1月30日
延床面積	2,637 m ²	確認者	伊東 正太郎

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 屋内の天井高さを高く取り、作業環境に寄与する。 建物前面上部に下野を設置、雨風対策とする。 構内の安全性の確保に努める。		その他 特になし
Q1 室内環境 対象外	Q2 サービス性能 階高を十分に確保し、作業環境に寄与する。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内は、作業車のみとし、従業員駐車場は隣接敷地に計画、構内の安全に配慮する。
LR1 エネルギー 高効率空調設備、LED照明の設置でエネルギー資源への配慮に努める。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材の使用により限りある資源を有効に利用する事に努める。	LR3 敷地外環境 光害対策として、外部に光が漏れないよう配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される